

玉蟲文一 たまむし 化学者、理學博士。明治二十一年十月十八日宮城縣

生れ、昭和五十七年七月二十六日歿（八六—九八二）。大正十一年東京

帝國大學理學部化學教室卒。十二年武蔵高等學校教授、翌年ドイツ留

學、根津科學研究所所長を経て、昭和二十四年東大教授。のち東京女

子大學、學習院大學各教授歴任。五十年日本人初のウォルフガング・

オストワルド賞受賞。界面・コロイド化學専攻。

譯著書に、ペラン著『原子力』（共譯、大正十四年五月五百岩波書店）、

『化學Ⅰ・總論』（白井俊明共著、第一部・昭和七年九月二十五日、

第二部・十年十一月二十日岩波書店）、『理化學辭典』（共編、昭和

十年四月五百岩波書店）、『膠質化學』（昭和十四年四月五百岩

波書店『岩波全書』（、『化學者隨想』（合著・東京大學物理學部化

學教室編、昭和二十五年二月二十五日松原行一先生喜壽記念刊行會）、

『科學と一般教育』（昭和二十七年十一月一日岩波書店『岩波新書』（、

『岩波理化學辭典』（共編、昭和二十八年十一月十日岩波書店）、『科

學と教育の間』（『科学』（昭和二十四年十一月十五日玉蟲文一先生還

暦記念会）、『CBA化学—付実験書』（監訳、昭和四十一年五月二

十一年岩波書店）、『科学・教育・随

想』（昭和四十五年六月一日岩波書店

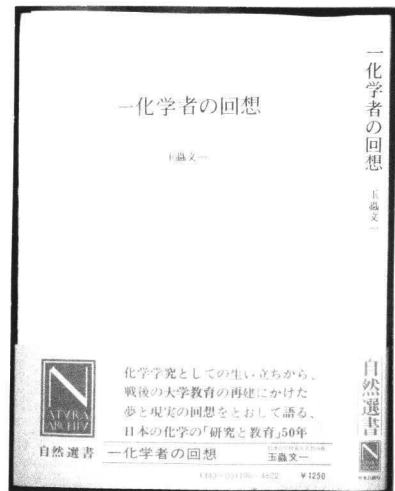
店）、『化学—構造とエネルギー』（編、

昭和四十六年二月二十日岩波書店）、

『一化学者の回想』

（昭和五十二年）

月二十五日中央公論社『自然選書』（、シヤク



ペラン著 日原子譯 (訳)  
昭和五十二年七月十七日  
岩波書店 岩波文庫  
庫」(等。